

## 令和8年度(2026年度) 入学式式辞

令和という元号になった最初の1年生として、小学校入学。6年間の義務教育第一章という物語を完結し、これからの可能性を身体中に秘め、今日ここに3年間の義務教育第2章・中学校編の入学を迎えた130名の皆さん、入学おめでとうございます。

近藤沼公園を悠々と泳ぐたくさんの鯉のぼりやその周囲にある満開の桜たちは、まるで新入生の入学をお祝いしているかのようです。そのようなこの佳き日に、館林市教育委員会教育委員・栗原昇様、館林市議会議員の皆様、区長の皆様、学校運営協議会委員の皆様の臨席のもと、伝統ある館林市立第三中学校の入学式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

今日から中学校という新しいステージへ移り、同級生や先輩、先生方と3年間の物語を作っていく皆さんに、校長として心に留めておいてほしい言葉を送ります。それは、「笑顔」「前向き」「感謝」「尊重」です。

まず「笑顔」。それは優しさであり心の余裕です。笑顔であいさつをしたり、お互いが笑顔になる言葉を交わしましょう。本校校歌2番にも「微笑み交わす師よ友よ」とうたっています。自分も笑顔で、相手も笑顔にさせる学校生活を送れるように意識しましょう。

次に「前向き」。これは困難を乗り越える力でもあり、ピンチをチャンスに変える魔法の考え方です。これから先、自分の力ではどうにもならないことや頑張ってもつまずいてしまう、あるいは上手くいかないこともあります。しかし、それで諦めたり人のせいにするのではなく、成長の一過程として前向きにとらえ、笑顔で失敗を正面から受け止め、何度でも挑戦し続けましょう。何度失敗しても、失敗はすべて成功への過程のよい経験になるという前向きな考えで、3年間を乗り切り、人として成長して行って下さい。

そして「感謝」。それは思いやりでありおかげさまでということです。君たちは一人で今日を迎えたわけではありません。ご両親や友達、先生、地域の方をはじめとする多くの方の助けがあって、今ここにいます。だから、いつも思いやりの心を持ち、助け合い、互いに感謝し合って学校生活を送ってほしいと願っています。

最後に「尊重」。それは自分も他者も大切な存在だということであり、自己の人間力を広げるものでもあります。人は様々な考えや事情を持っています。育ってきた環境が違えば、自分の経験や考えと合わないことがたくさんあります。この中学3年間で様々な角度からの見方・考え方を広げ、複数の物差しを持てるように、豊かな人間力を築いて下さい。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。中学時代は「切磋琢磨」という言葉が最も当てはまる時期でもあります。多くの楽しみや様々な試練を、仲間と協力して経験していくことで、子ども達はよりいっそうたくましく成長していくことと思います。私たちは、子ども達の最も身近にいる人生の伴走者として寄り添い、子どもたちのよきサポーターあるいは応援団として手を取り合い、育てて参りましょう。

また、本日ご臨席賜りましたご来賓の皆様におかれましては、これまでいただきましたご厚情に深く感謝申し上げますとともに、本年度も本校の全てにお力をお貸しいただければ幸いです。

結びに、笑顔・前向き・感謝・尊重の言葉を胸に、多くの友達を作り、よりよい人間関係を築いて、一人一人がワクワクするような物語を作っていくして下さい。本校職員は、君たちの期待や相談に応えてくれる、熱意・アイデア・愛情溢れる人ばかりですので安心して下さい。それでは、130名の皆さんの希望ある中学校生活へ向けて、幸多かれとエールを送ると共に、ご来場の全ての皆様のご多幸を祈念いたしまして、式辞といたします。

令和8年4月7日

館林市立第三中学校 第19代校長 橋本文明